

※本資料に掲載の数値等は速報値です。

今後の精査等により変更をする場合があります。

H25年7月11～13日

子吉川 出水概要

《ポイント》

- わずか13日間の総雨量で観測所8箇所において7月期雨量の観測史上1位を記録
- 現地情報連絡員(リエゾン)による的確な情報提供、状況把握、情報伝達
- 自治体の要請を受け排水ポンプ車を出動
- 大沢川排水機場整備による整備効果

平成25年7月14日

国土交通省 東北地方整備局

秋田河川国道事務所

子吉川 出水の概要

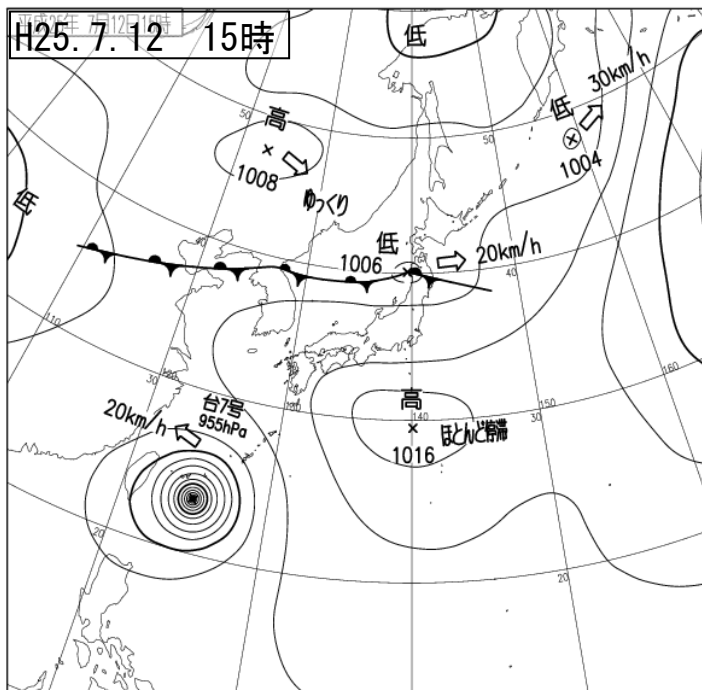
7月10日気圧の谷の影響で、湿った南よりの風が流れ込み、大気の状態が不安定となった。

このため、子吉川流域では10日昼頃から13日にかけて、断続的に長時間の降雨となった。

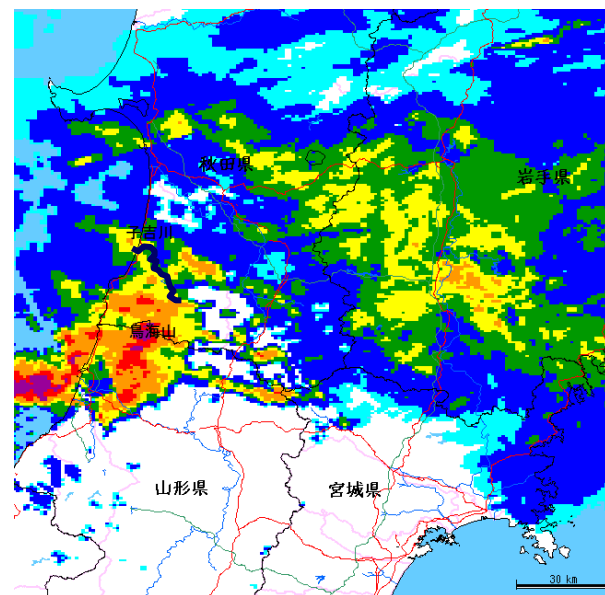
13日15時時点で大清水観測所の総雨量658mmを最高に、笹子観測所200mm、冬師観測所304mmを観測した。

この降雨により、二十六木橋水位観測所で避難判断水位を上回る5.78m、鮎瀬水位観測所で避難判断水位を上回る5.17mを記録した。

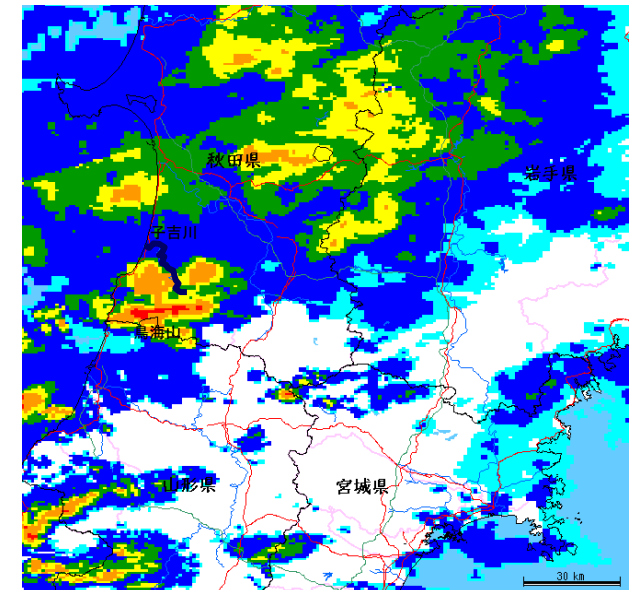
天気図



レーダ雨量



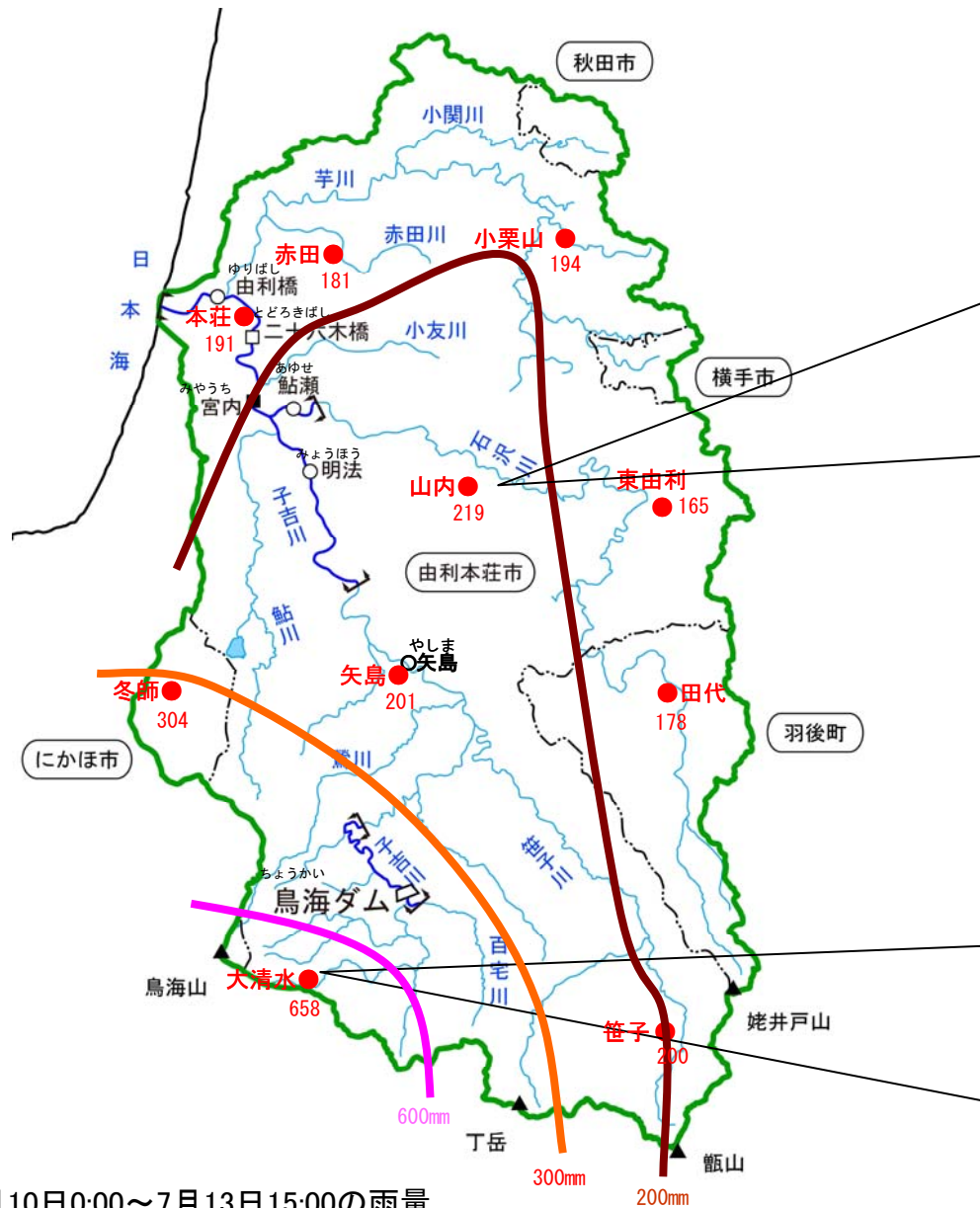
H25. 7. 11 13時



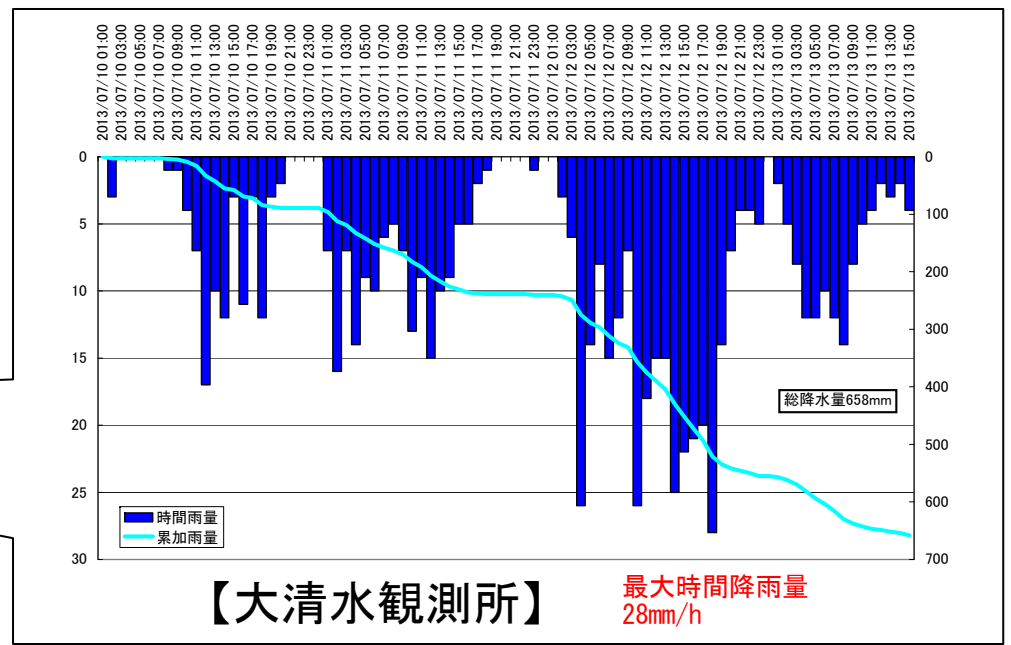
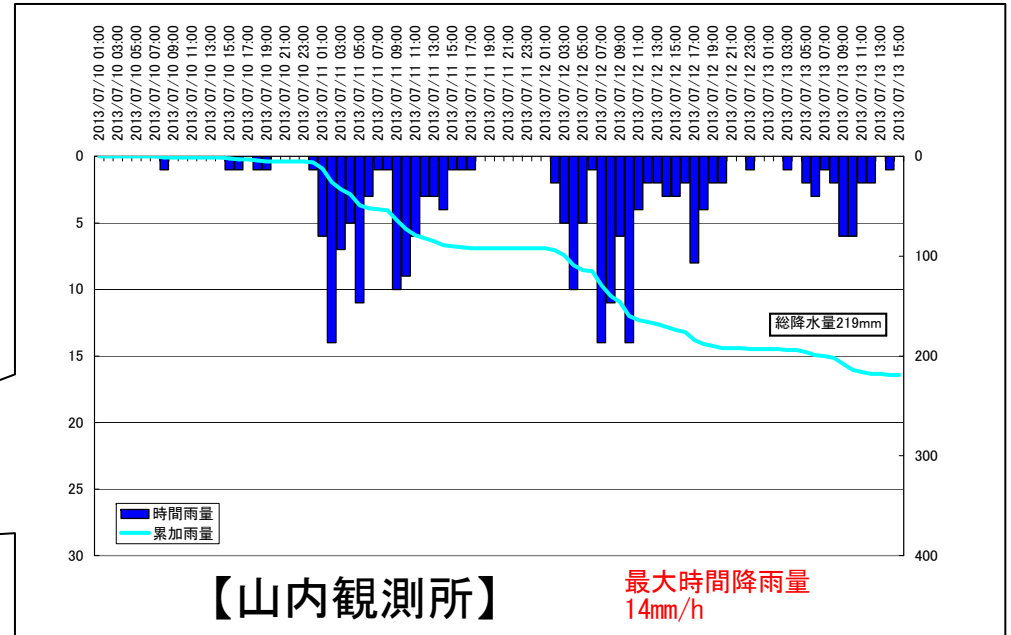
H25. 7. 12 17時

子吉川 降雨概要

等雨量線図

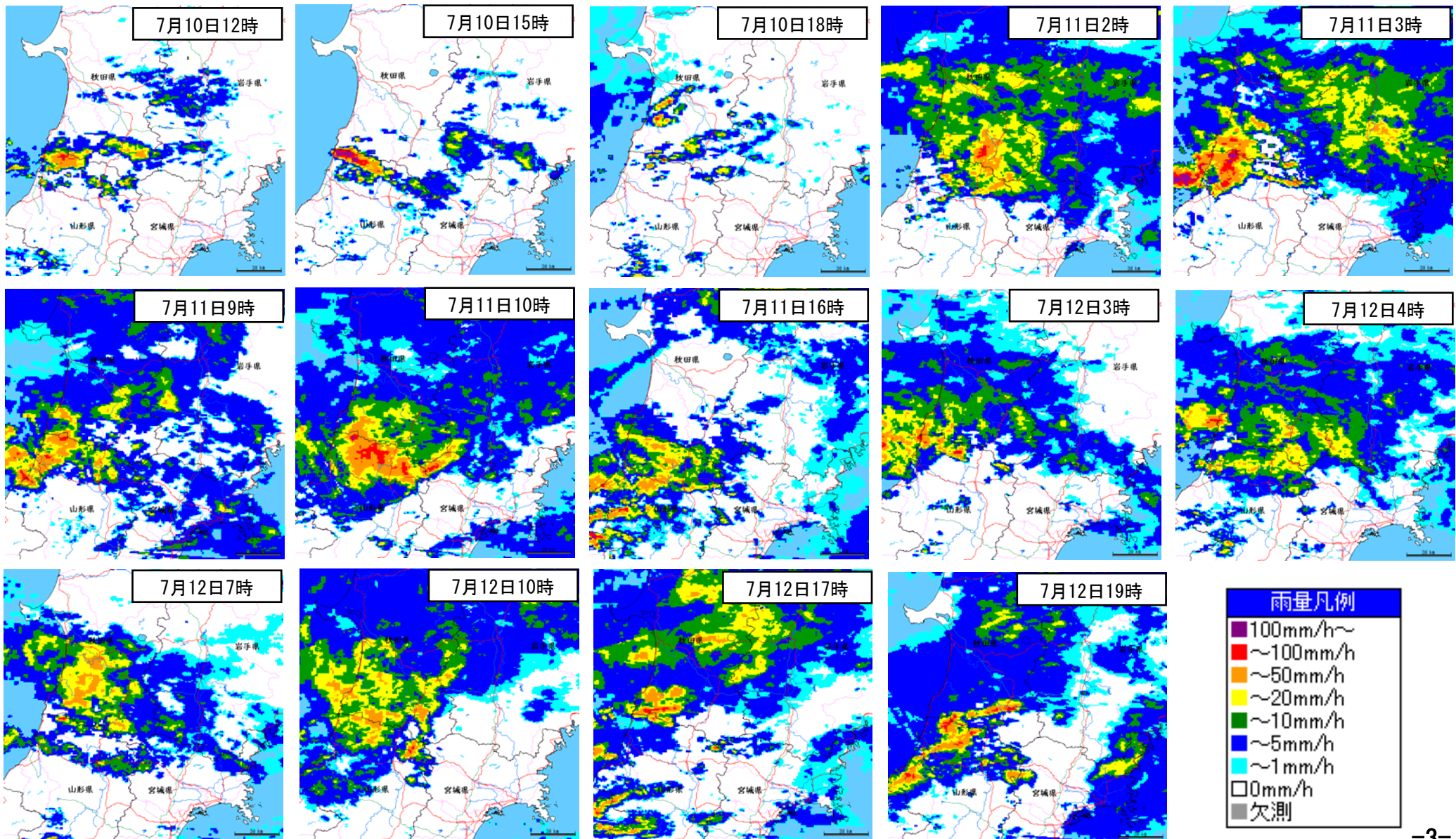


7月10日0:00~7月13日15:00の雨量



子吉川 降雨概要

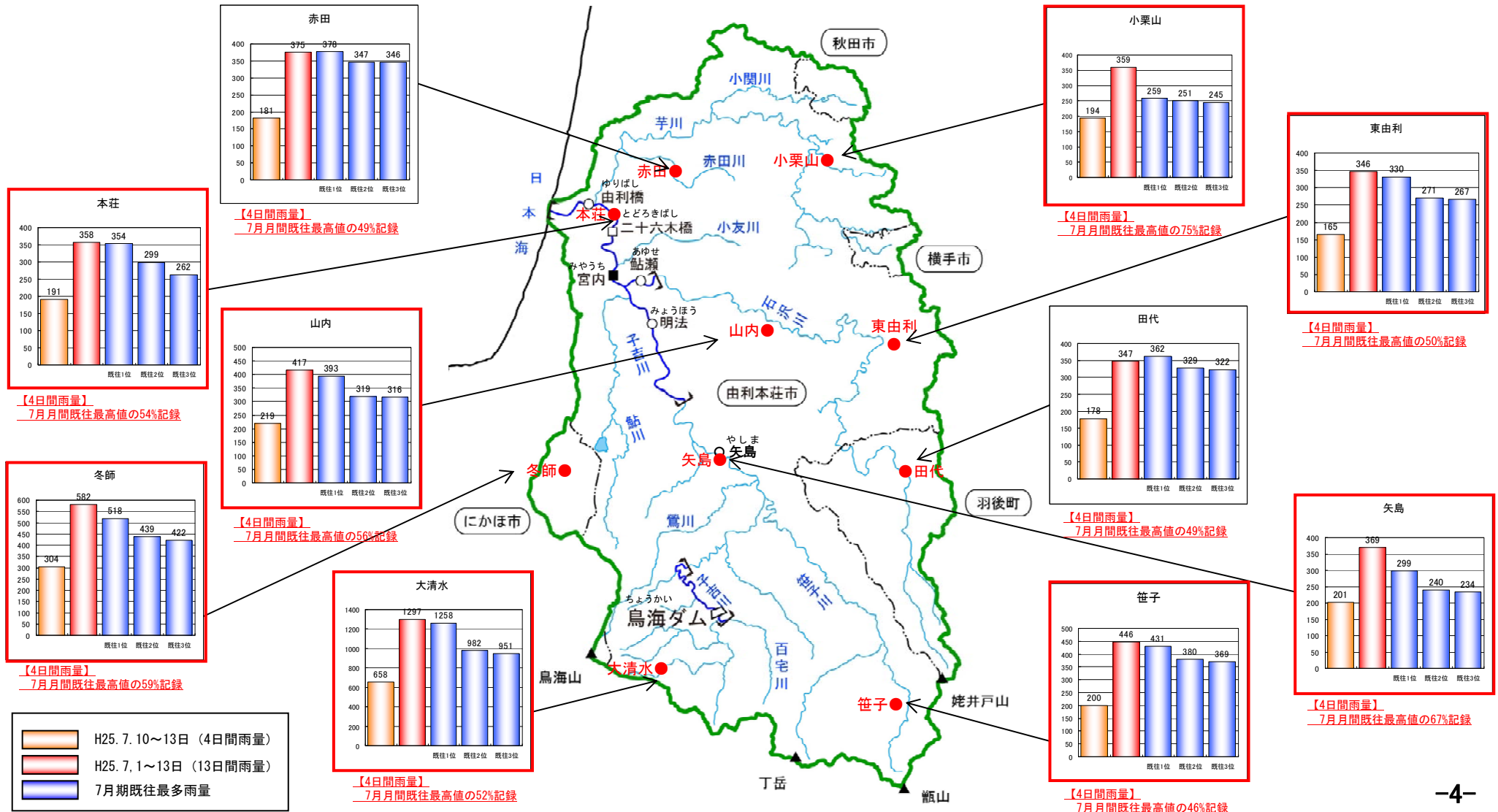
○7月10日昼頃から13日にかけて、子吉川流域に断続的に強い雨域がかかり、長時間にわたり記録的な雨量となった。



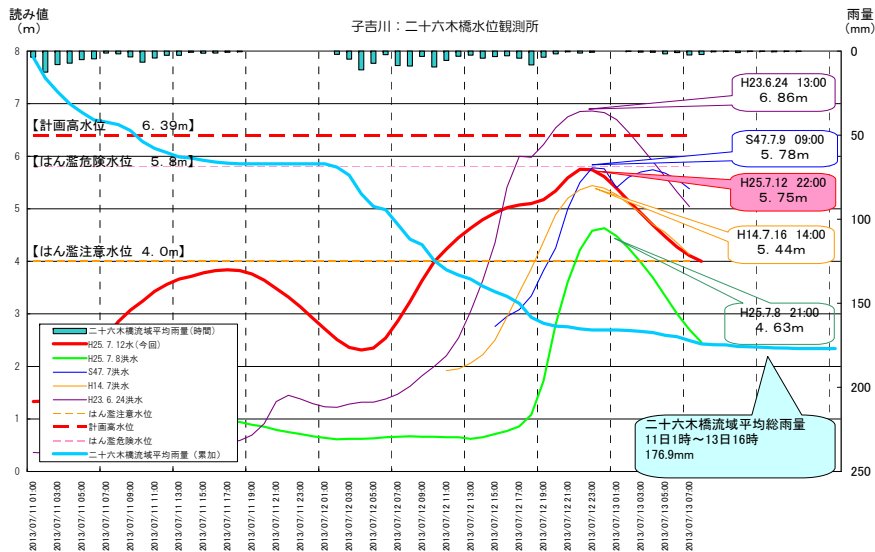
子吉川 降雨概要

○大清水雨量観測所では、7月10日～13日の4日間雨量が658mmを記録し、7月13日時点での7月の雨量が1,297mmとなり、7月期雨量の観測史上第1位を記録した。（その外、7観測所でも第1位を記録）

○ほとんどの観測所で、7月10日～13日の4日間雨量で、7月期既往最高値の50%を超える雨量を記録した。

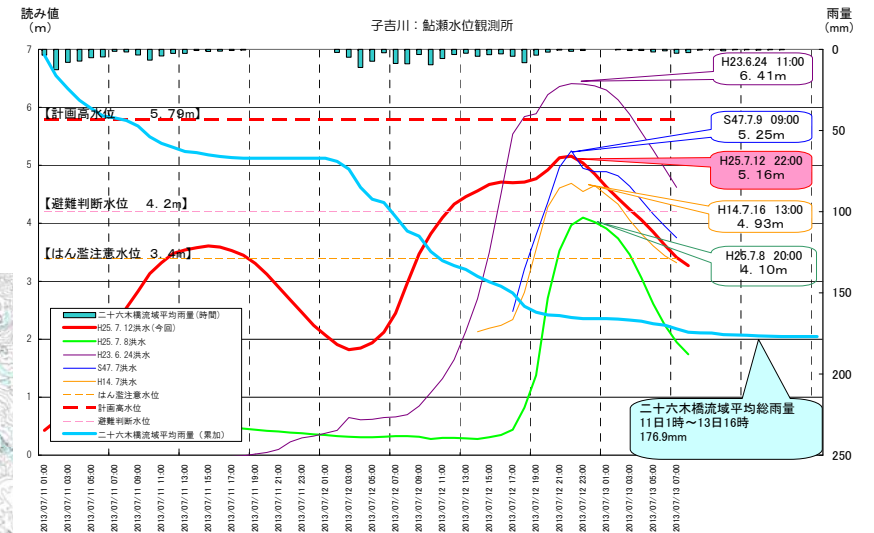


子吉川 過去の洪水との比較

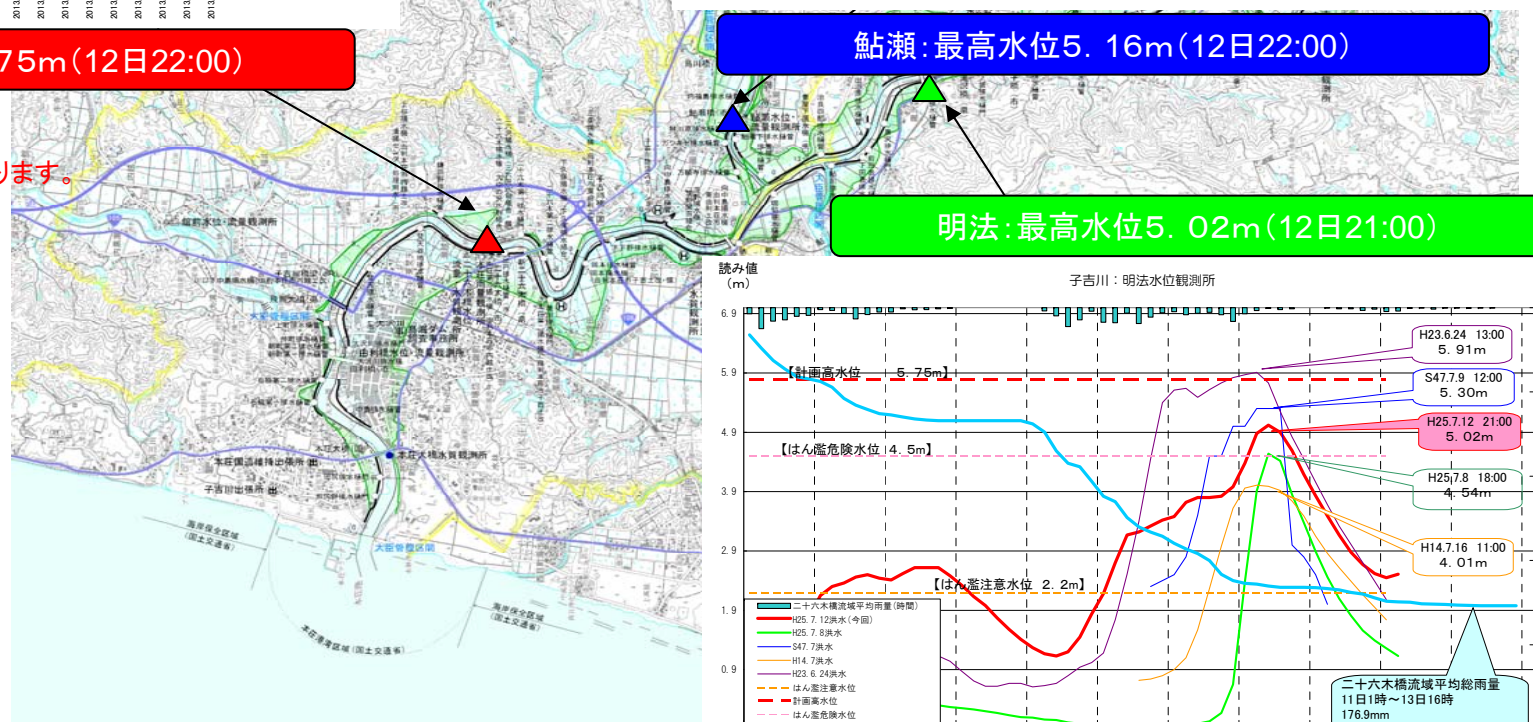


二十六木橋: 最高水位 5.75m (12日 22:00)

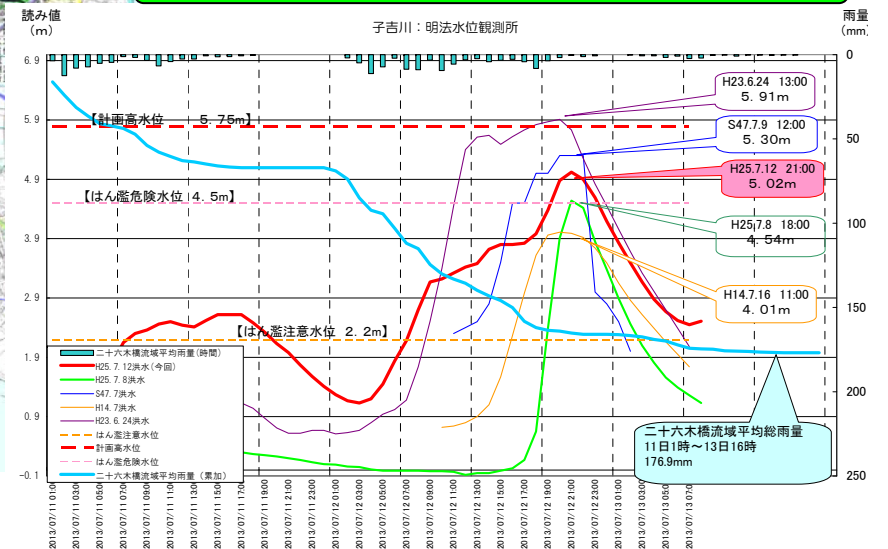
※本資料に掲載の数値等は速報値です。
今後の精査等により変更をする場合があります。



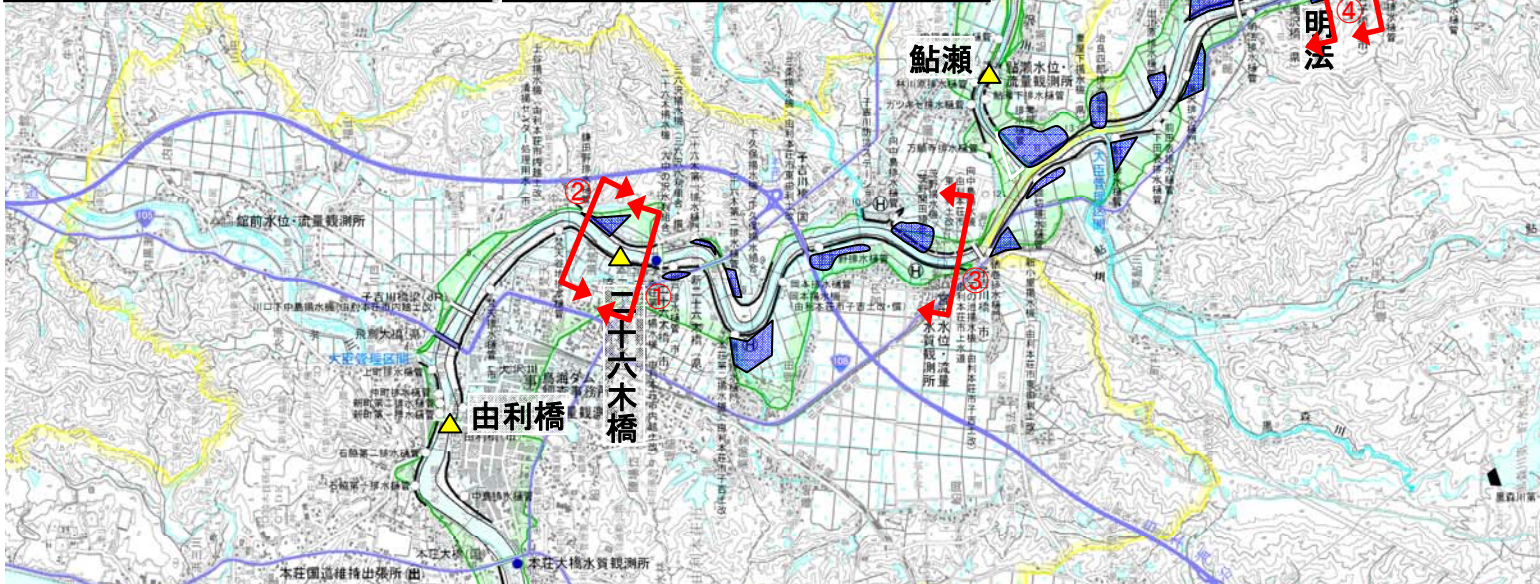
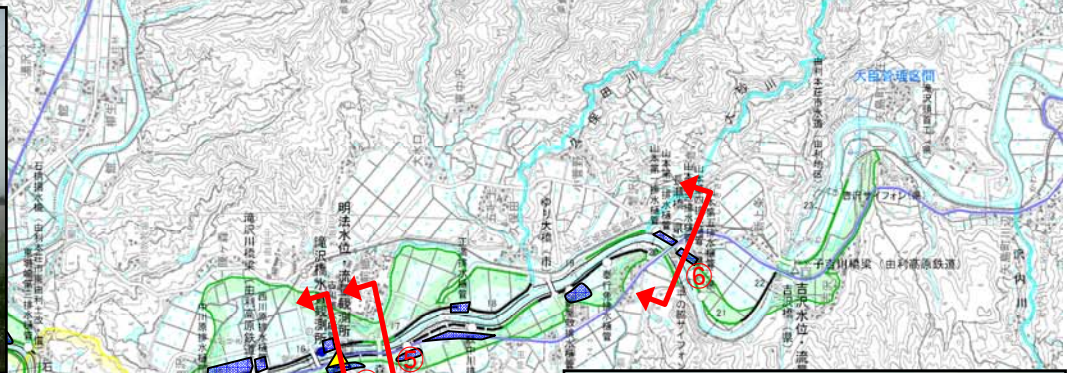
鮎瀬: 最高水位 5.16m (12日 22:00)




明法: 最高水位 5.02m (12日 21:00)

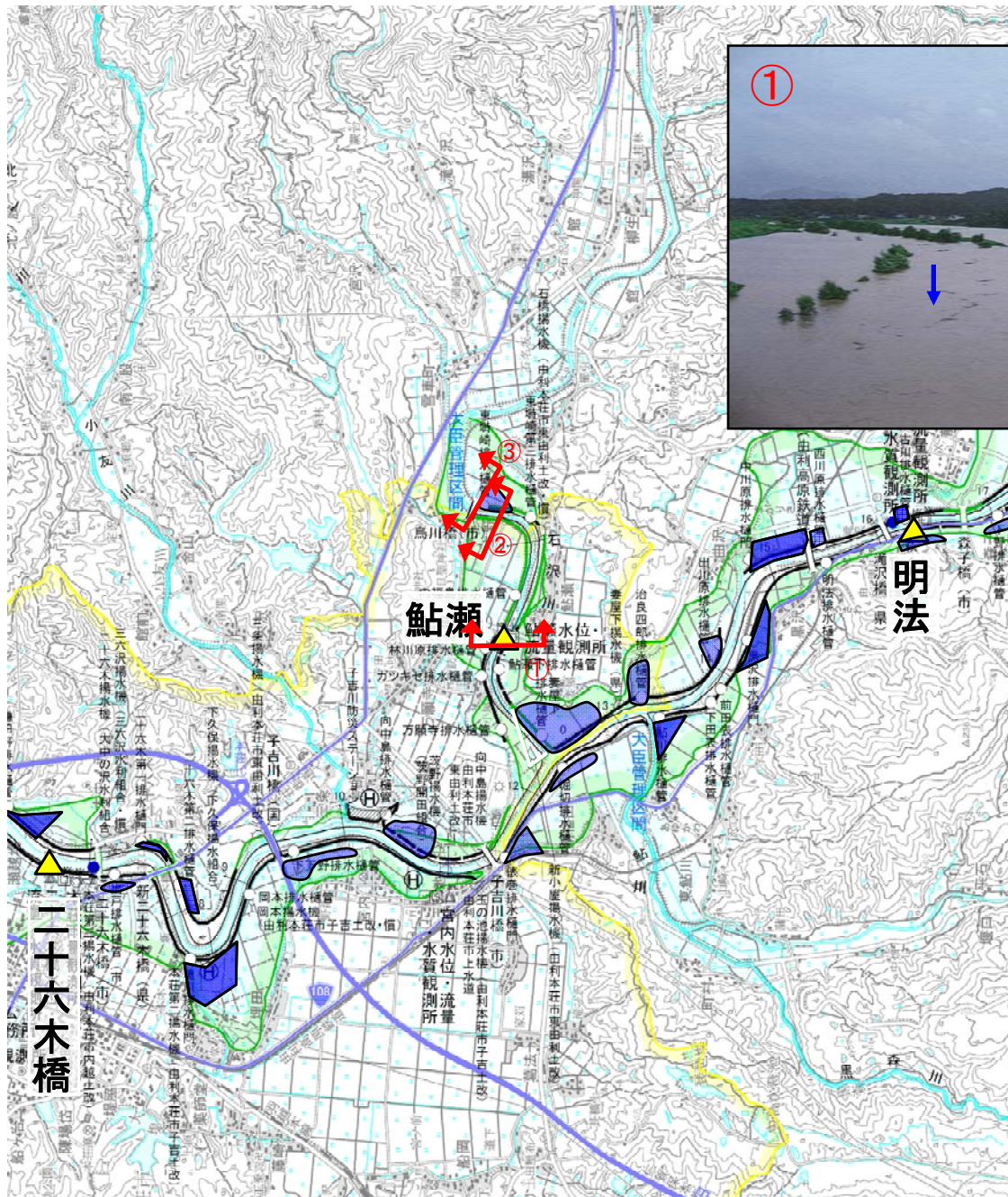


子吉川 洪水状況(1/2)



(凡例)
 : 氾濫エリア
 (河川巡視報告より推定)

子吉川(石沢川) 洪水状況(2/2)

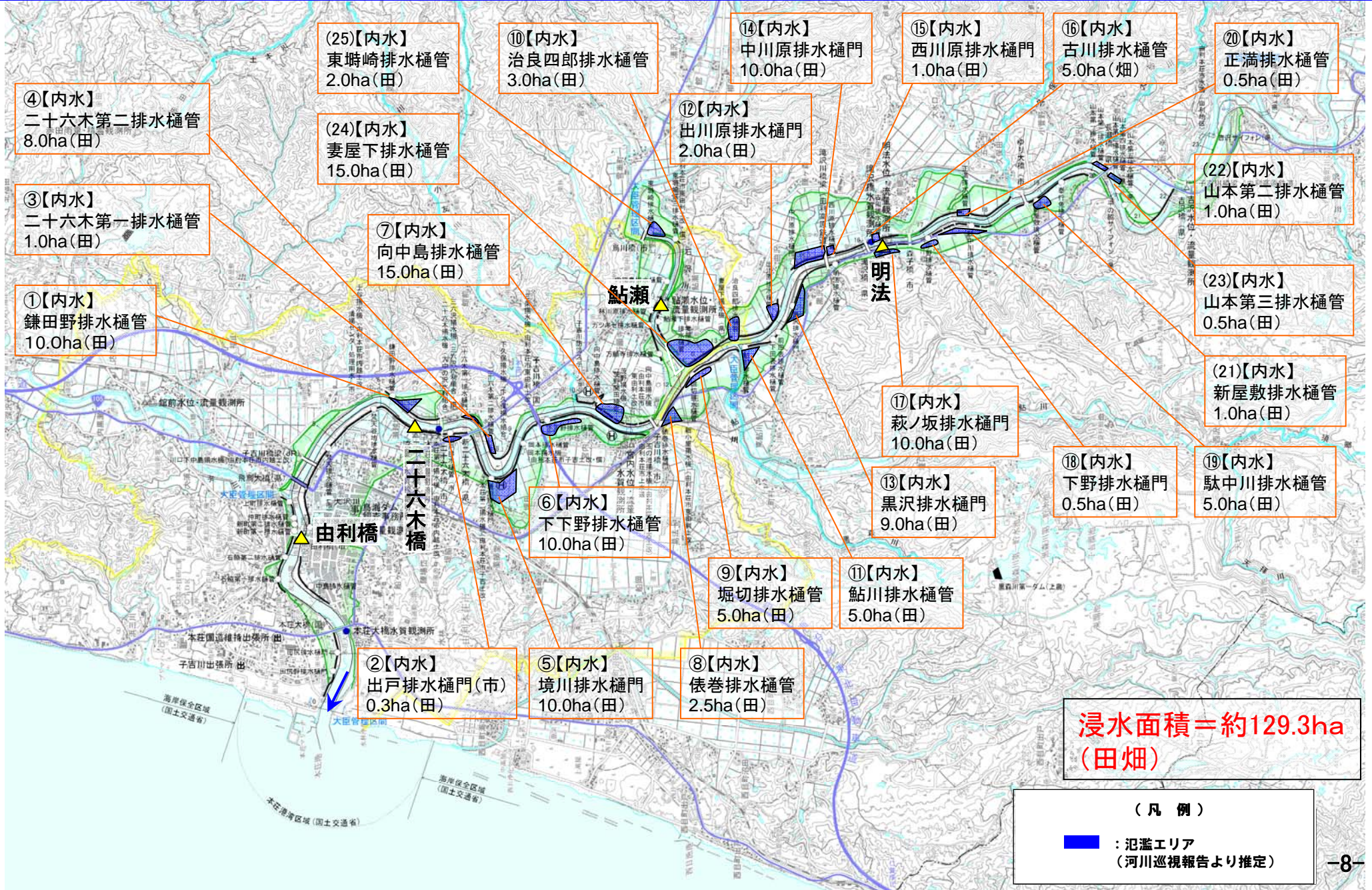


※Ku-SATによる水位の監視及び関係自治体への情報提供を実施

(凡例)
■ : 氾濫エリア
 (河川巡視報告より推定)

子吉川 浸水被害状況図 (内水)

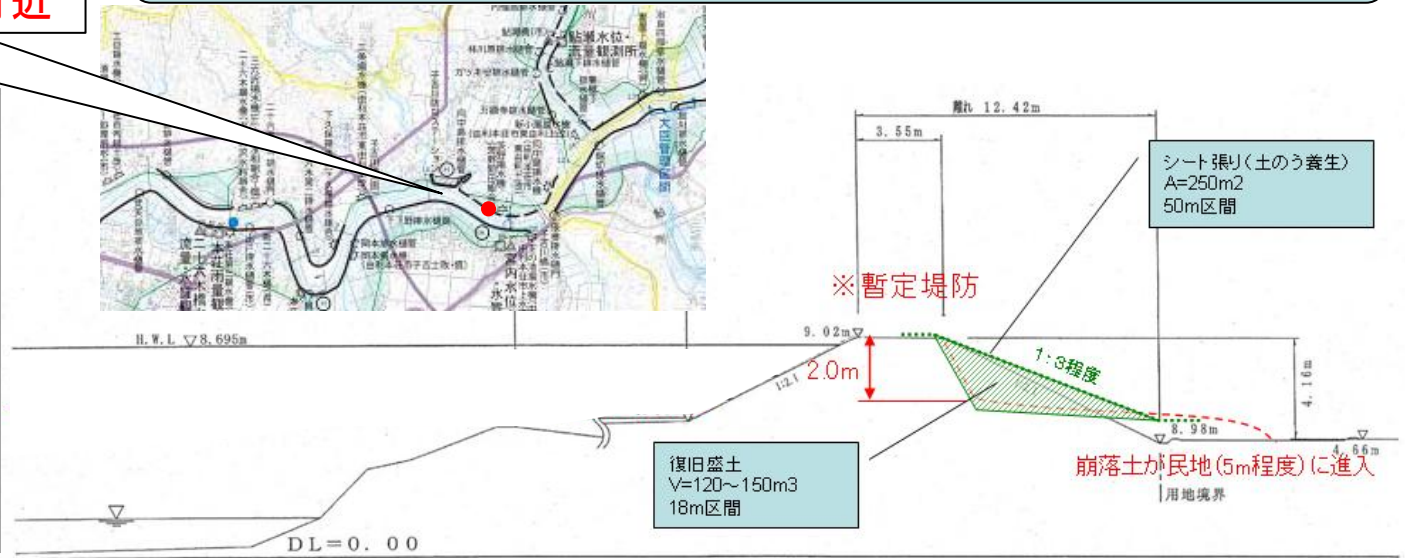
H25年7月12日出水 推定浸水面積



被災箇所と対策状況

【被災箇所】
荒町堤防 子吉川右岸 10.8k付近

河川水位の下降中に発見された「堤防裏法すべり」箇所に対して、次期出水時の安全性を確保するために、復旧盛土工法による応急復旧を実施した。



応急復旧対策

裏法面すべり発生状況



被災発見: 13日6:56

復旧盛土完了状況



法面保護(シート張り)状況



応急復旧完了: 13日19:00

子吉川 水防警報発令状況

河川名		水位観測所	区分	水防警報発令時間	発令区間			
子吉川水系	子吉川	矢島	待機	2013/7/11/ 13:40	左右	由利本荘市吉沢	左右	由利本荘市滝沢橋
			解除	2013/7/11/ 21:50				
			待機	2013/7/12/ 05:40				
			出動	2013/7/12/ 12:50				
			待機	2013/7/13/ 01:50				
			解除	2013/7/13/ 14:40				
		明法	待機	2013/7/11/ 07:00	左右	由利本荘市滝沢橋	左右	由利本荘市玉の池 石沢川合流点
			出動	2013/7/11/ 14:30				
			待機	2013/7/11/ 19:50				
			解除	2013/7/11/ 23:40				
			待機	2013/7/12/ 05:20				
			出動	2013/7/12/ 07:50				
		二十六木橋	待機	2013/7/11/ 11:40	左右	由利本荘市玉の池 石沢川合流点	左右	子吉川河口
			解除	2013/7/11/ 22:30				
			待機	2013/7/12/ 08:30				
			出動	2013/7/12/ 10:20				
			待機	2013/7/13/ 09:00				
			解除	2013/7/13/ 15:00				
	石沢川	鮎瀬	待機	2013/7/11/ 09:30	左右	鳥川橋	左右	子吉川合流点
			解除	2013/7/11/ 23:10				
			出動	2013/7/12/ 09:00				
待機			2013/7/13/ 08:00					
解除			2013/7/13/ 14:50					

ホットラインによる情報共有

地域の的確な判断・行動につながる情報提供として5回実施（◆ 秋田河川国道事務所 ◇ 由利本荘市）

日 時	内 容
7/12 11:10	◆石沢川 鮎瀬水位観測所 避難判断水位超過 ◇被害情報 無し、勧告発令 無し
7/12 11:45	◆避難判断水位を超過し、なお上昇中であるが被害情報等はないか ◇被害情報 無し、勧告発令 無し
7/12 15:05	◆国でお手伝いが必要であれば、教えてほしい。 ◇現時点ではありません。今後の見通し等情報があればお願いいたします。
7/12 20:30	◆二十六木橋 水位予測情報(3時間後 避難判断水位到達)
7/12 21:40	◆二十六木橋 水位予測情報(危険水位到達の予測) ◇避難場所の準備中(東中、尾崎小学校)、避難勧告の判断検討中

子吉川 避難情報発令状況

避難勧告

市町村	地区名	発令・解除時間	世帯数	人数	避難先	原 因
由利本荘市	上野	発令:12日12時00分 解除:13日09時00分	6世帯	24人	上野公民館	石沢川はん濫のおそれ

災害情報・復旧支援状況①

【現地情報連絡員(リエゾン)派遣状況及び活動内容】

子吉川及び石沢川の出水状況の提供及び現地の状況を把握するため **現地情報連絡員(リエゾン)**

を由利本荘市に派遣

◆派遣期間:

12日 12:45～13日 9時まで

◆派遣場所: 由利本荘市役所

◆派遣延べ人数: 4名



▲由利本荘市災害対策部会議の様子

日 時	内 容
7/12 12:50	12:00 避難勧告 発令 上野地区(6世帯、24人) ← 最新の予測値を知りたい。(12時時点を送付)
7/12 13:15	由利本荘市 被害情報 ・谷地地内 市道冠水 ・川口愛宕 家屋浸水の恐れ(芋川) ・福田町内 増水中 決壊の恐れ(普通河川)
7/12 13:45	【追加】由利本荘市 被害情報 ・西沢字田代 土砂崩れ(鮎川上流)
7/12 15:25	国道108号 鮎川橋(排水P車出勤場所)長谷部市長現地確認に向かう。
7/12 16:11	16:30～ 国道105号 市内赤沼下(JRアンダー) 通行止め
7/12 17:55	由利本荘市万願寺(国道107号の近く)床下浸水 1棟(側溝の越水)
7/12 20:12	20:00 災害対策本部 第2動員(班長以上) 21:00 班長会議 ※国からはH23年6月洪水との違いを説明されたい。 赤沼、美倉町、下大野 避難勧告発令準備中
7/12 21:22	避難勧告対象者数 (赤沼 479世帯、1,217人 美倉町 722世帯、1,633人 下大野 732世帯、1,980人) 合計 1, 933世帯、4,830人
7/12 22:35	23:00～ 災害対策本部 班長会議 開催予定
7/12 22:35	災害対策本部 会議 内容 ・赤沼、美倉町、下大野の避難勧告は見送る。 ・12時に発表した上野地区は、継続中 ・災害対策本部は縮小
7/13 0:22	水防団(本荘分団) 解散 これで全ての水防団解散
7/13 8:48	9:00 上野地区 6世帯 24人 への避難勧告解除予定

災害情報・復旧支援状況②

【排水ポンプ車活動状況】

国道108号鮎川橋付近の道路冠水のため由利本荘市より排水ポンプ車の出動要請を受け排水作業を実施。

《 活動状況 》

- ・排水ポンプ車能力 30m³/min
- ・排水時間 約14時間 H25.7.12(金) 14:45~7.13(土) 4:45
- ・総排水量 約15,120m³ 14h×6m³/min×3台×60min



▲国道108号道路冠水状況



▲排水ポンプ車による排水状況

子吉川 被害状況(秋田県内の被害状況)

平成25年7月13日8時30分現在

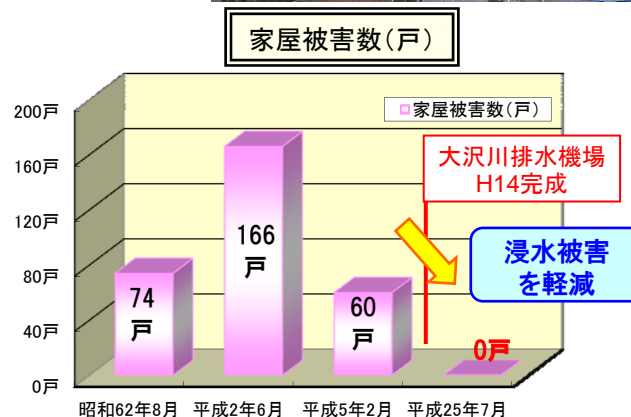
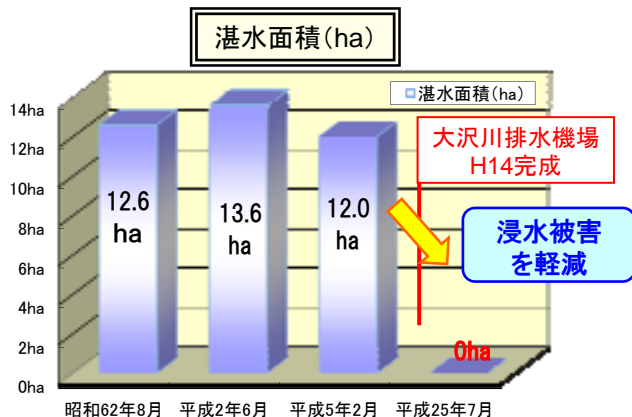
都道府県		単位	秋田県		
区分			由利本荘市	その他	県合計
人的被害	死者	人	0	0	0
	負傷者	人	0	0	0
	行方不明者	人	0	0	0
家屋被害	全壊	戸	0	0	0
	半壊	戸	0	0	0
	流出	戸	0	0	0
	床上浸水	戸	0	0	0
	床下浸水	戸	1	4	5
	非住家被害	戸	0	5	5
農林被害	農作物等	Ha	-	-	調査中
	農業用施設	棟	-	-	調査中
	農地	箇所	-	-	調査中
	農業用施設	箇所	-	-	調査中
	林業施設	箇所	-	-	調査中
	林地施設	箇所	-	-	調査中
公的被害	道路被害	箇所	-	-	調査中
	橋梁流出	箇所	-	-	調査中
	河川被害(決壊他)	箇所	-	-	調査中
	砂防施設被害	箇所	-	-	調査中
	山(崖)崩れ	箇所	1	1	2
	鉄軌道被害	箇所	-	-	調査中
	施設被害	箇所	1	1	2

由利本荘市の床下浸水は石沢川0.6k付近右岸の内水によるもの(由利本荘市万願寺)

※ 出典:秋田県災害連絡室発表資料抜粋

秋田県本荘平野を貫流する子吉川は、由利本荘市街地で合流する支川大沢川の内水被害が頻発しており、平成2年6月、平成8年8月などの出水時において床上浸水被害を被ったため、平成14年3月に排水機場を設置し、内水被害の軽減を図ってきたところである。

今回洪水において、大沢川排水機場の排水量から換算すると、平成2年6月洪水と同規模の湛水面積になると想定されることから、大沢川排水機場の効果で内水浸水被害を大幅に軽減している。



排水機場が無かった場合、平成2年洪水の浸水範囲と同程度と想定。
排水機場の完成(H14)によって被害を大幅に軽減。